

2025年8月3日(日曜日) ガムテープで君だけのダンボールコスチュームをつくろう!

《アンケートより》

- ・前回作ったときよりもかっこよくできた。(5年生)
- ・楽しかったのでまたやりたいです♪ありがとうございました♪(4年生)
- ・自分で工夫して自分だけのダンボールコスチュームを作ることができとても楽しかった。(一般)
- ・子どもの集中力が途切れてしまっても、スタッフのみなさんにたくさんフォローしてもらえて助かりました。ありがとうございました。(保護者)

＜担当者より＞

小学3年生でも保護者の同伴があれば参加できる数少ない講座だけあって、申込み開始45分で定員に達しました。講師の先生に作るコツを教えてもらい、12人が作ったコスチュームは個性あふれるユニークなものばかりで、最後の記念撮影はとても楽しい時間となりました。



2025年8月29日(金曜日) エレキギター&エレキベース教室2025演奏会

《アンケートより》

- ・先生も面白くて優しくとても楽しかったです。また機会があれば参加したいです。(10代)
- ・大人数の前で演奏したり、上手な先生に教えてもらったりと中々できない貴重な経験ができました。(10代)
- ・ドキドキしながら申込みました。気さくな先生が毎回楽しくレッスンしてくださり、とても楽しい1ヶ月でした。各レベルに合わせてかっこいい演奏ができるように指導してくださって気負いなくできました。ありがとうございました!(30代)
- ・年に1回のエレキ教室!とても楽しみにしています。たったの6回で2曲!ステキなホールで演奏できてとても嬉しいです。のりお先生、皆さまありがとうございます!(60代)

＜担当者より＞

講師の渡辺のりおさん(名古屋芸術大学音楽領域教授)の楽しい進行に、受講生6名のエレキギター、1名のエレキベース、ゲストボーカル、ドラムで格好良いアーティストに大変身しました。6回の少ないレッスンでアリアナ・キーズの「If I Aint Got You」を含む2曲を演奏しました。会場全体が温かい雰囲気包まれ、その場にいた全員の記憶に残る素敵な演奏会になりました。受講生一人ひとりにソロパートがあり、会場中の視線を独り占めできたことと思います。舞台上キラキラ輝いており、最高のコンサートとなりました。6年度に引き続きギターもベースも募集開始してからすぐ定員となり、皆さまの期待の高さと関心を感じました。来年度受講希望の人は、お早めに申込ください。



2025年8月16日(土曜日)～31日(日曜日) 現代アートの鑑賞2025 ^{ブック}pook「さくを見つける」

《アンケートより》

- ・息子、娘家族と一緒に来て孫も喜んでいました。(50代)
- ・お花がいっぱい描けて楽しかった。もっとたくさんやりたい。また来るね。(10歳未満)
- ・とても楽しく、2才の息子と37才の夫と一緒に楽しんでいました(笑)(20代)
- ・2回来た。(前回面白かったからちがう友人つれて来た)内容がちがって良かった。去年の展示も面白かったのを思い出して今年もしらべて来た。しらべて良かった。(40代)
- ・光の力は物を動かす力があるんだなあと思いました。(10代)
- ・しかけや映像のからくりも知れたかったです。(30代)
- ・思った以上に面白く、予想外の音や動きがあって楽しかった。子供も喜んで再入場しました。(30代)
- ・今までの影絵系の中で一番楽しめました。自分で描いた絵が動くのがおもしろかったです。赤外線ライトで動かしかけもとてもおもしろかったです。音もイイ!!(40代)
- ・現代アートは、色々な技術があふれていておもしろいです。(10代)
- ・素敵なアートでした。新聞にのって、来れる機会があり良かったです。(50代)
- ・子どもが実際にからだをうごかして、その動作がアートになるところがおもしろくて毎年楽しみにしています。(30代)
- ・お花が楽しかったです。子どもが何回もやりました。(30代)

＜担当者より＞

毎年恒例となっている現代アートの鑑賞事業はpook(ブック)による「さくを見つける」展です。手をかざして動かすと、手の軌跡として現れた線が放射状に複製されて不思議な花の形になる作品「ユビサキに咲く」と、壁に取り付けられた物をライトで照らしてみると、カラクリ装置と映像が連動して動き出す「よなよなを照らせ」の2作品を展示しました。pookは本多和さんという作家さんの個人スタジオです。展示会の入口には本多さんによるコメントが紹介されています。「展示会のタイトル『さくを見つける』の"さく"には、『咲く』『作』のふたつの意味を重ねました。手探りで見つけてきた、pookの作品たちが、皆さんの思い出の中で小さく咲くような展示会になると嬉しいです。」本多さんの言葉のとおりたくさんの来場者が作品を堪能し、おいに楽しんでくれました。

